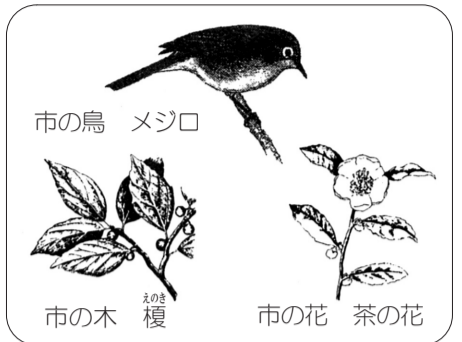


武蔵村山市 まがいたばり

武蔵村山市



市の鳥 メジロ



市の木 さかき



市の花 茶の花

発行/武蔵村山市議会 〒208-8501 武蔵村山市本町一丁目1番地の1 ☎(042)565-1111

ホームページ <http://www.city.musashimurayama.lg.jp/gikai>
メールアドレス gikai@city.musashimurayama.tokyo.jp

平成22年 第4回定例会



一斉放水(出初式)



姉妹都市「栄村消防団ラッパ隊」も参加

武蔵村山市基本構想を制定

北朝鮮による韓国・延坪島砲撃に

関する決議を全会一致で可決

第4回定例会の概要

平成22年第4回定例会は、11月29日から12月17日までの19日間の会期で開かれました。

この定例会では、今回提出された市長提出議案11件、委員提出議案2件、議員提出議案14件、その他1件、陳情6件、継続となっていた陳情2件が審議・審査されました。

また、17人の議員が64項目について一般質問を行いました。

17日(金)	13日(月)	10日(金)	9日(木)	7日(火)	6日(月)	3日(金)	2日(木)	29日(月)	26日(金)	22日(月)	18日(木)	15日(月)	8日(月)	5日(金)	2日(火)	29日(金)	21日(木)	20日(水)	18日(月)	15日(金)	14日(木)	12日(火)	7日(木)	5日(火)	
第4回市議会定例会本会議(最終日)	厚生産業委員会	議会運営委員会	総務文教委員会	議案(一般質問)	建設環境委員会	全員協議会	交通対策特別委員会	昭和市场組合議定会定例会	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)	議案(一般質問)

議会日誌

高齢者・障害者の施設について



田代 芳久 (新政会)

問 ①特別養護老人ホームの建設、または、誘致する考えはあるか何う。②特別養護老人ホームの現在の待機者数と入所者の1カ月の費用を何う。③障害者の雇用の実態と施設の充実について何う。

答 ①第5期介護保険事業計画（平成24年度から26年度）で、120床程度1棟を計画予定である。②本年10月1日現在、市内2か所所40人、うち市民は19人である。費用は、4人部屋で9万円前後、個室で17万円前後である。③平成20年3月の市民意識調査で、障害者のいる世帯1千556世帯のうち、障害者自身の給与等で生計を維持している世帯は12%、187世帯

新市長の新しい施策と来年度予算について



波多野 征敏 (新政会)

である。今後も、障害者雇用の場の確保に努めていく。問 《一中校舎、体育館工事の進捗について》①校舎、体育館の完成予定を何う。②市内業者は何者参加しているか。③全教室にクーラーを設置しない理由と設置する場合の台数と予算総額を何う。答 ①改築校舎、武道場は、平成23年7月に完成予定で、体育館、既存校舎の改修工事は11月19日に完了している。②元請、下請を合わせ3者が参加している。③必要な調査を実施しているところで、全教室に設置した場合、52台で1億円程度となる。

問 《固定資産税・都市計画税の減税について》①平成24年の評価がえにあわせ減税を実施し、市民の家計を支援する考えは。②空き店舗、工場、倉庫等の収益を得ていない不動産に対し、特例の減税を実施する考えはないか何う。答 ①市税収入の50%以上の基幹税目で、今日の経済状況では減税は困難と思っている。②固定資産税は、当該資産から生ずる収益等に考慮していないため、減税措置は難しい。

問 《子どもたちの安全・安心施策について》①我が市で幼児、児童への虐待のケースはあるか何う。②あったとすればどのように対処しているのか何う。③小学生の不登校児の数を把握しているか何う。答 ①本年9月末現在、児童虐待の相談件数は43件で、児童養護施設等に保護したケースは4件である。②市では、要保護児童対策地域協議会を設置し、この中で個別ケース検討会議を設置し、相談・通告等のあったケースに対応しており、21年度から子ども家庭支援センターに虐待対策ワーカーを配置し、小学校や保育所等と連携し対応している。③21年度の不登校児童数は17人である。

問 《我が市独自の独自の交流会等の開催や支援ができないか》全国的に市町で独身者の出会いの機会を行政が音頭をとっている所があると聞くが、武蔵村山市で独身者の支援ができないか何う。答 東京みどり農業協同組合青年部が主催し、農業後継者と独身女性の交流会を実施しており、今年度は平成23年2月に開催すると聞いている。また、商工会青年部連合会が主催し、商工会青年部員を対象にお見合いイベントを実施している。市は、これらの事業の推移を見守っていき

質 問

であり、この後の再質問等の詳細については、

問 《道路の改修と雨水対策について》一般市道D第9号線（残堀五丁目56番地先）を整備し、住民の安全に対応すべきと思うが市の考えを何う。答 平成22年度実施計画で24年度に実施する予定となっている。

問 《保育園の待機児童の現状について》①過去3年間の保育園入所待機児童数の推移を何う。②来年度の待機児童数の予測はどんなものか。③待機児童ゼロへの方策はあるのか。答 ①平成20年4月1日現在で93人、21年で83人、22年で108人となっている。②今年度中に民間保育所の分園1施設、民間保育所2施設の増築で58人の定員増大を23年度から予定しており、今年度より減少すると考えている。24年度には市立保育所の指定管理者制度移行時に26人の定員増大を予定し、26年度を目標に、次世代育成支援行動計画（後期計画）に基づき、民間保育所、認証保育所の開設を予定している。なお、保育所への入所円滑化対策の実施による弾力的な受け入れ対策も、引き続き、民間保育所の協力により、待機児童の解消を目指していきたい。

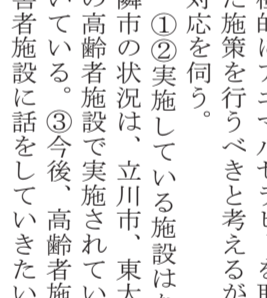
問 《行政所有地、赤道などの管理、整備について》①雑草やごみの投棄による市民からの苦情は年間どのくらい起きているか。②今後の管理、整備についての対応を何う。答 ①従来から雑草の繁茂等について調査し、平成21年度39件、22年度10月末現在29件で、地主に対し雑草の除去等の要請を行っている。ごみの不法投棄は、21年度185件、22年度10月末現在114件の処理を行った。市民からの苦情は、21年度37件、22年度10月末現在55件あった。②土地の管理は自己の責任で適正管理するよう要請し、ごみの不法投棄の監視等適正な管理に努めていく。

問 《モノレール延伸と本市の活性化のために、沿線の人口増加と企業誘致が必要であると思うが、その方策について何う。》人口は直近の5年間の平均で、年740人程度増加している。多摩地域では、雇用や税収確保のため企業誘致に取り組んでいる団体があり、今後状況を把握し、制度の検討を行っていききたい。

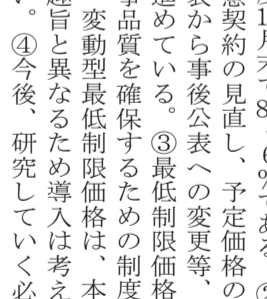
問 《家族形態の変化に伴う住宅へのニーズも多様化しており、慎重に対応する必要があると考えている。》本年2月に助成対象者の年齢要件の撤廃、耐震診断助成限度額の引き上げ等の改正を行った。今後、制度のPRに努めていく。

問 《見やすい選挙公報を》市長選や市議選の選挙公報は、本市のものは一人ひとりの欄が小さくて見にくい。もっと市民が読みやすい紙面に改善すべきでは。答 紙面を一回り大きなもので印刷する方向で検討している。

問 《業務別の市庁舎の場所について》市役所は、業務によって市庁舎や事務所が分かれていて無駄足になることがある。市民が間違えないで済むための改善方法について何う。答 ホームページや転入の際に「むさしむらやまぐらしのしおり」の中で周知している。また、市報で事業等を掲載する際は、問い合わせ先や場所を具体的に明記し、市民に分かりやすく掲載するよう心がけている。



吉田 篤 (公明党)



須藤 博 (民主党)



美しく奏でるハンドベル（えのき情報館）

般

掲載されている内容は、通告に対する当初の答弁会議録をご覧ください。

市内循環バスについて



川島 利男 (新国会)

問 ①市制施行40周年事業に無料バスを運行したが何人ぐらい乗車されたか伺う。②デエダラまつりの会場は交通の便が悪いので祭りの時には無料バスが必要と思うが市の考えを伺う。

答 ①11月3日の運行実績は、正確な数の把握はできていないが、1日で約1千人程度の利用と推測されることである。②イオンモール内の交通プラザ乗り入れに伴い、第4回開催時に市内循環バスが運行していない時間帯に限り運行したが、利用者が非常に少なかったことである。今後、市内循環バス等の利用を推奨するとともに、実行委員会の

意見を聞いてみたいと考えている。

問 《道路の整備について》①クロスポイント修理の進捗状況について伺う。②市内全体の道路を再点検する必要があると思うが、市に伺う。

答 ①交差点自発光鏡は、本年3月末現在で、188箇所設置されており、21年度は3箇所の取り換えを行った。今後も現状を捉え対応していきたい。②市道の舗装状況等は、18年度に幅員2.7m以上の生活道路を中心に現状調査を行い計画的に整備してきたが、調査後数年経過しており、現状調査の実施について検討していきたい。

問 《消防車について》水害時に緊急自動車として赤色灯とサイレンを鳴らし、現地への行動は可能か伺う。

答 台風や集中豪雨による河川の氾濫等の水害時に、人命への危険がある場合等の緊急時には、消防車のサイレンを鳴らし、赤色の警光灯を点灯して走行することが義務付けられている。

問 《村山の名物紹介について》ゆでまんじゅうと村山うどんの宣伝をし、武蔵村山を活性化できないか伺う。

答 平成19年度から地域ブランド認証制度を開始し、ゆでまんじゅうを始め、8件の商品を確認している。認証商品は、市ホームページでPRを図っている。本年7月にイオンモールむさし村山ミューで販売・展示を行った。村山うどんも、この認証制度への申請について、働きかけてみたい。



えっ!!!まさか (雑草いけ花展)



声援に押されて (市民駅伝大会)

地域交通について



高橋 薫 (公明党)

問 ①市内循環バスの路線見直しにおける検証について。②市長が推進するコミュニティタクシー(仮称)の内容と、市内循環バスとの関係性について。

答 ①平成21年度にルート変更後の利用状況調査を行った。その結果、運行本数の増加が最も多く、次にルートの改善となっている。今後、これらの意見等を参考に検討していきたい。②市内循環バスを補完する公共交通として、小型車両を利用し、停留所を設けて時刻表により運行する乗合交通を想定している。市内循環バスの路線見直し等と一体的に検討していきたい。

問 《地域コミュニティと市民協働について》①地域コミュニティ活性化検討協議会の進捗状況。②自治会加入率低下の原因分析と対策。③市民協働を推進するための市の取り組みについて。

答 ①本年10月に設置し、2回の会議を行い、現状と問題点の把握を行っている。今後、地域コミュニティのあり方や、職員地域担当制について検討していく予定となっている。②平成21年9月実施の市民意識調査の中で自治会に加入しない理由として、「いずれ役員・当番を務めることとなり、面倒である」が30.4%と最も高く、次いで「自治会が何を行って組織なのかわからない」などとなっている。現在、市報を通してPRに努め、加入率向上への対策を図っている。③地域コミュニティ活性化検討協議会の中で検討していきたい。

問 《高齢者の活躍の場づくりについて》①高齢者人材バンクの創設について。②老人クラブの加入・活動状況。③高齢者の活動の受け皿の現状について。④高齢者の生涯学習の現状について。

答 ①シルバー人材センターで高齢者を登録し、就労を推進しており、また、ボランティアセンターにボランティア登録制度がある。②本年5月1日現在、39クラブ2千926人の加入状況で、活動状況は軽スポーツ、趣味活動、会員相互の見守り活動等である。③就業機会を確保することを目的に、シルバー人材センターで活動の場の対応を図っている。④今年度は健康ウォーキング、パソコン教室等を予定している。

問 《図書館の開館時間の延長を》市内の図書館の開館時間は基本的に午前10時から午後5時となっている。他府県の図書館を参考に、開館時間を早め、閉館時間を遅らせることができるのではないかと。うち、雷塚図書館は、毎週木曜日は

かたくりの湯納入業者

説明会について



天目石 要一郎 (清流)

問 2月と8月に納入業者説明会を行っているが、①これまでの参加企業数や説明内容などの実施状況と告知方法は。②平成21年度、22年度に新規参入した市内業者は何者か。また、現在の市内業者の納入状況は。

答 ①指定管理者に聞いたところ、説明会の募集を商工会商業部会及びホームページで行ったが、参加事業者数が少なかったため、平成20年度から商工会等からの紹介で、個別に施設内で説明及び納入見積をもらうことである。19年度は2回実施し47者が参加、20年度から22年度は各1回の実施で、各年度26者程度の参加となっている。②21年度は5者、22年度は5者で、市内の取引事業者は30者となっている。

問 《第一中学校建てかえ工事の進捗状況について》①市内業者は何者下請けに参加しているのか。また、市民の雇用状況は。②現場代理人が不在の時があるが、現在の進捗状況は。

答 ①元請及び下請の業者を合わせ3者が参加している。また、この工事に従事している市民は26人である。②体育館及び既存校舎の改修工事は、11月19日に完了し、校舎の改築工事及び武道場の新築工事は、予定どおり進捗している。

問 《図書館の開館時間の延長を》市内の図書館の開館時間は基本的に午前10時から午後5時となっている。他府県の図書館を参考に、開館時間を早め、閉館時間を遅らせることができるのではないかと。うち、雷塚図書館は、毎週木曜日は

答 市内の図書館及び地区図書館のうち、雷塚図書館は、毎週木曜日は

地域スポーツ振興について



高山 晃一 (新国会)

問 ①地域スポーツクラブの現状と設立・育成支援について伺う。②平成25年に行われる国民体育大会の現在の準備状況と今後の対応について伺う。

答 ①総合型地域スポーツクラブ設置に向け、本年度、設立検討委員会を設置し、審議中である。23年度に設立準備委員会を設置し、総合型地域スポーツクラブを設立したいと考えている。②国民体育大会の準備状況は、23年度実行委員会設立に向けて準備を進めている。

問 《学童保育について》①学童保育の現状と実態について伺う。②学童保育の現在の待機状況と希望者への対応について伺う。

答 ①学童クラブ数は11施設、総定員は650人で、本年12月1日現在の入所児童数は532人で、待機児童はない。なお、定員の関係から学童クラブに入所できなかった、待機児童の対応は、平成21年度から、小学校からそのまま児童館へ来館する「ランドセル来館事業」を実施している。

問 《都市計画道路について》①都市計画道路東大和武蔵村山線(三ツ木三丁目、五丁目)の現状と今後の具体的な計画について伺う。②都市計画道路対象住民への説明と対応について伺う。

答 ①当該路線は、東京都と28市町で策定した多摩地域における都市計画道路の整備方針の中で、優先整備路線とされており、今後整備について検討していきたい。対象住民への説明等は、具体的な整備計画等を示せる段階となったら対応したい。





おめでとう (成人式)

保育所待機児童の解消について



高橋 弘志 (公明党)

問 ①待機児童の解消に、早急に対応策を講ずるべきであるが、市の対応について伺う。②小、中学校の余裕教室の活用についての検討状況を伺う。

答 ①今年度中に民間保育所の分園1施設、民間保育所2施設の増改築で58人の定員枠拡大を23年度から予定しており、24年度に市立保育所の指定管理者制度移行時に26人の定員枠拡大を予定し、26年度を目標に、次世代育成支援行動計画(後期計画)に基づき、民間保育所、認証保育所の開設を予定している。なお、保育所への入所円滑化対策の実施による弾力的な受け入れ対策も、引き続き、民間保育所の協力により、待機児童の解消を目指していきたい。②国に

緑が丘地域について



竹原 キヨミ (日本共産党)

おける35人学級構想の動向を見ながら、教育・児童福祉連携検討委員会で検討していきたい。

問 《湖南処理場施設の有効活用について》大南地区会館、菖蒲園、大南公園の駐車場整備、東側道路の拡幅等の活用について、市として積極的にアピールをすべきと考えるが、市の対応について伺う。

答 有効活用は、平成21年7月に構成5市で設置した検討委員会で検討を行っており、その中で市の考えを述べていく。なお、大南地区会館の駐車場の拡幅は、用地の一部借用について依頼している。

問 《図書施設の充実について》①生涯学習施設・設備の整備の検討状況について。②図書の利用性向上や、盗難、破損、未返却等の損害額の削減につながる、電子書籍が目ざれているが検討できないか伺う。

答 ①生涯学習推進計画では、中央公民館と中央図書館の機能を併せ持つ施設として生涯学習センターが位置付けられている。社会教育委員会等、施設の必要性、機能や運営方法など審議し、意見を頂いているところである。②どのように導入し運営していくのかなど、検討されてくると考えており、今後の動向を注視していきたい。

問 《野球場の整備について》市民が安心・安全に利用できるスポーツ施設整備として、雷塚公園野球場の老朽化したフェンスを修復してほしいとの声があるが、市の対応について伺う。

答 平成21年度に、外野のフェンスを改修したところで、内野フェンスについても改修が必要な時期に来ていると考えている。



問 次の5点について市の対応を伺う。①オカネ塚公園トイレの洋式化。②都営村山団地西通り駐車場の夜間開放。③名義継承は同居の子まで。④1人でも2DKに。⑤5階建てにエレベーター設置を。

答 ①今後、トイレの改修等に合わせ検討していきたい。②駐車場の供用時間は、周辺商店街の営業時間等を勘案し、午前9時から午後8時までとしたところであり、夜間開放した場合、長時間駐車されるなど想定されるため、実施する考えはない。

問 《高齢者の孤独防止について》①病気のときの付き添いを。②手術のときの立ち会いを。③高齢者専用賃貸住宅を。④特別養護老人ホームの増設を。⑤ふれあいカフェの開設を。⑥夜間無料電話相談の開設を伺う。

答 ①ヘルパーの身体介護による通院同行が可能である。②医療同意権の関係から、原則親族が立ち会うべきものと認識している。③国で高齢者向け賃貸住宅制度の見直しを検討されていることから、今後の動向を注視していく。④第5期介護保険事業計画(平成24年度から26年度)で120床程度の特別養護老人ホーム1棟を計画する予定である。⑤都営村山団地内の自治会集会所を開放し、サロンカフェ等の実態を検証するなど、研究していきたい。⑥各地域包括支援センターが電話相談を行っている。

問 《可燃系粗大ごみのリサイクルについて》①3市共同リサイクルセンター設置の進捗状況について伺う。

答 ②暫定的にストックヤードが必要と思われる。市の対応を伺う。

答 ①本年4月に報告があり、その後、(仮称)3市共同資源化事業基本構想の策定について検討しているところである。②3市共同資源物処理施設の設置の状況を見極め検討していきたい。

問 《NPO法人ばんびぎんの運営について》①NPO法人ばんびぎんの運営の経過と今後について伺う。②NPO法人の運営や各記録・事務について研修が必要と思われるが、市の支援を。③地域活動支援センターの発足時及び運営に市の支援を。

答 ①本年10月末で障害福祉サービス事業を廃止する届出を東京都に提出したと聞いている。また、NPO法人自体も近々解散する予定と聞いている。②パワーアップ講座を実施しており、また、ボランティアセンターでNPO入門ガイダンスを開催し、設立を考えている団体への支援を図っている。③事業者に対し運営費の補助等を行うとともに、開設準備上のノウハウや書類等の整備のための支援を行っている。

小、中学校の普通教室へのクーラー設置について



新山 敏夫 (日本共産党)

問 猛暑が続いた今夏は、熱中症で医療機関にかかったり、体調不良を訴え保健室で休養する児童・生徒が続出した。勉強に集中できる環境を提供するのは行政の責任ではないか。

答 学校施設の猛暑対策について、普通教室の冷房化の調査等を実施しているところである。

問 《子育て支援について》合計特殊出生率が東京でトップクラスの我が市では、子育て支援策の充実が何よりも重要である。①保育待機児の解消。②学童保育の充実。③つみき保育園の今後について方策を伺う。

答 ①今年度中に民間保育所の分園1施設、民間保育所2施設の増改築

武蔵村山市の観光について



大原 明彦 (政和会)

問 ①観光行政に関して具体的計画はあるか。②観光資源として何を考えているか。③多摩地区の他市町村における観光行政の状況は把握しているか。④観光協会の創設については。



一斉にスタート (市民駅伝大会)

光策検討協議会で、地域の観光振興のため、観光施策について検討をしており、具体的な内容は、この中で検討していきたい。②緑豊かな狭山丘陵を中心とした、都立野山北・六道山公園やかたくりの湯、イベントとして観光納涼花火大会や村山デエダラまつりなどを観光施策検討協議会の中で考えてもらおう予定である。

問 《モノレール延伸について》①モノレールを核とした具体的な市の将来像は。②第四次長期総合計画の中でどの位置づけは。③市民の意見を取り入れた具体案の検討を行う予定はあるか。

答 ①3市の重要な都市軸として、第三次長期総合計画に位置付けられており、第四次の計画でも同様の位置づけを考えている。また、モノレールを中心とした将来像は、活力と賑わいのある沿道市街地の形成に向けて、市民等との協働により、計画を策定していきたい。

救急医療情報キットの導入について



沖野 清子 (公明党)

問 平成21年12月定例会で質問した
が、障害者、高齢者の安全確保のため
に救急医療情報キットの導入が望
まれる。その後の進捗状況を伺う。
答 正確な情報を救急隊等に的確に
提供できる、救急医療情報キットの
導入は特に一人暮らし高齢者にとっ
て有効であることから、検討してい
きたい。

問 《高齢者の見守り支援について》
①我が市の見守り支援体制について
伺う。②支援が行き届かない高齢者
のために見守り相談室の設置を望む
が、市の対応を伺う。

答 ①90歳以上の高齢者名簿を民生・
児童委員に配布及び医療、介護、福
祉サービスの利用状況が突合できる
ことを個人情報保護審議会です承さ
れ、65歳以上の一人暮らし及び高
齢者のみの世帯名簿を各地域包括支
援センターに配布する準備を行って
おり、高齢者見守りネットワーク事
業と一体的に見守りの強化を図って
いく。②26市では三鷹市が設置して
いるが、今後、地域包括支援センタ
ーと協力し、有効な見守りの手段と
して実施できるかを検討していく。

問 《子宮頸がん予防ワクチン全額
公費助成を》①今年度の中学1年生
から3年生までの子宮頸がん予防ワ
クチンの接種状況は。②保護者への
お知らせ、啓発は十分であったか伺
う。③今後、全額の公費助成を望む
が、市の対応を伺う。

答 ①子宮頸がん予防ワクチンの接
種は、本年9月より中学1年生から
3年生までを対象に接種費用の一部
公費助成を実施し、市内10か所の医
療機関で行っている。本年10月末現
在170人が1回目の接種を行い、接
種率は15・7%となっている。②本
年8月1日現在の中学1年生から3
年生までの接種対象者1千86人に個

別通知している。また、市報、ホーム
ページで啓発を行っている。③国の
動向や他市の状況を見極め検討して
いきたい。

問 《窓口相談について》①窓口で
の納税等の相談件数は。②市民が相
談しやすい環境づくりのため、相談
室の活用を望むが、市の対応を伺う。
答 ①正確な件数は捉えていないが、
平日の日中や夜間の延長窓口の際に
も実施しており、概ね年間1千件ぐ
らいの相談を受けている。②相談は、
窓口カウンターで行っているが、個
室での相談を希望する方は、事務室
内相談室で行っている。

既設公園の機能充実に



善家 裕子 (清流)

問 まちづくりには公園の役割は大
きい。公園に設置のベンチの数、質
の改善等で機能充実が求められて
いるが、市民の思い出記念ベンチ事
業を新設してはどうか。

答 思い出ベンチ事業は、メッセー
ジが刻まれたベンチを寄付してい
た。公園施設の充実と親しみやす
い公園を作ることを目的に、平成15
年度から東京都が始めた事業である。
本市も当該事業は、第4次行政改革
大綱の中で、推進項目に位置付けら
れていることから、今後、検討して
いきたい。

問 《市民協働まちづくりの具現化を》
①平成21年度に市民協働推進会議か
ら報告書が出されたが、具現化する
ための市民、法人の人的、財政的協
力をどのように得るのか。②市民参
加型事業の推進策とそのための制度
改正は。

答 ①市民協働推進会議を平成21
年度に設置し、NPO法人等と市が、
互いに行動し地域課題の解決に努め
る協働を推進する必要があると考
えており、本年3月に市民協働推進
会議でまとめた協働事業提案制度の
現に向け、準備を進めていきたい。
問 《仮称》道路管理基本計画策
定を》①舗装状況の調査はどのように
行われているか。②整備の管理基準、
改修工事実施決定の判断基準は。③
今後の管理を効果的、合理的に行え
るよう(仮称)道路管理基本計画策
定を。

答 ①③市道の舗装状況等は、平
成18年度に2.7m以上の生活道路を中
心に現状調査を行い、実施計画策
定の中で、計画的に整備してきた。効
率的な維持管理を行うため、基本計
画策定については、今後、調査・研
究していきたい。

地域包括支援センターについて



濱浦 雪代 (公明党)

問 ①地域包括支援センター増設計
画について。②センターを核とした
24時間見守り支援体制づくりを望む
が、市の考えを伺う。

答 ①第4期介護保険事業計画期間
中に北部地区に1か所増設する予定
で、平成24年4月1日の開設に向け
運営事業者の選定中である。②市で
は、地域包括支援センターを地域住
民の保健医療の向上及び福祉の増進
を包括的に支援する役割を担う中核
的拠点として、設置しており、高
齢者が地域で安心して暮らせるため
必要であると認識しており、見守り体
制づくりについて検討していく。

問 《介護予防について》介護予
防リーダーの養成状況と今後の介護予
防への取り組みについて伺う。

答 今年度13回のカリキュラムを設
定し、9月から定員30人で実施して
いる。また、養成講座を修了すると
介護予防リーダー認定証を交付する
予定である。今後、脳のパワーア
ップ教室等の直接的な支援に加え、小
中学生への認知症サポーター養成研
修など、介護や認知症に対する理解・
普及に努めていく。

問 《スクールソーシャルワーカー
について》現在の活動状況と今後の
拡充予定について伺う。

答 今年度4月以降、20件の相談を
受け、うち不登校等5件について改
善が見られている。今後、スクール
ソーシャルワーカーを中心に、学校
や関係の諸機関との連絡協議会を設
置し、効果的な活用方法を検討してい
く。

問 《普通教室へのクーラー設置に
ついて》①予算措置に関する東京都
の動向について。②我が市における
エコスクール化への取り組みにつ
いて。

答 ①東京都教育庁で本年9月10
日付で、今後の事務の参考とするため、
公立小中学校の冷房化の現状調査が
行われた。②校庭の芝生化は進めて
いるが、このほか、太陽光パネルの
設置や雨水利用、屋上緑化などでき
るところから実施し、エコスクール
化を推進していく必要があると考
えている。

問 《生活困難世帯への対応策につ
いて》不況が長引いている中、倒産
や失業などによる生活困難世帯が増
加していると思われる。市の対応策
について伺う。

答 生活困難世帯からの生活相談に
応じ、世帯の置かれた状況、今後の
希望等詳しく聞く中で、生活保護制
度を始め、住宅手当支給制度や中学
3年生、高校3年生の塾費用、入試
受験料を無利子で貸付けする制度な
どの紹介やそれら制度の活用を図
るとともに、ハローワークや社会福祉
協議会と連携を図りながら対応して
いる。

将来都市構造について



金井 治夫 (新政会)

問 日産自動車跡地南側地域は自然
景観・緑形成ゾーンに位置づけられ
ているが都市計画法は工業地域とし
ている。市の将来は企業誘致ではな
いのか。ここに人為的自然景観は必
要なのか。

答 日産自動車工場跡地は、関係者
による五者協議会で「まちづくり方
針」を策定しており、この方針を基
本として、跡地利用を考えていく。
現在策定中の第四次長期総合計画で
自然環境・緑形成ゾーンでは、狭山
丘陵の自然環境の維持・保全に努め
るとともに、質問の地区は、緑豊か
な土地利用を誘導することとしている。

問 《行政運営について》①行政
サービスの維持・向上と職員定数の適
正化について。②自主財源(市税収
入)の向上と新たな財源確保に向け
た具体的取り組みについて。
答 ①職員定数の適正化は、厳しい



寒さに耐えて咲く

財政状況の中にあっても、行政サー
ビスの維持、向上の要請に対応す
るため、定員適正化計画に基づき、生
活重視のまちづくりや「人と人との
絆、信頼の市政」を市政運営の基本
として、推進していきたい。②市税
は、納税交渉の早期対応、現年課税
分の滞納整理など滞納の未然防止に
努めるとともに、市報やホームページ
等で納税の啓発活動を進め、収納
率の向上を図っていく。また、新財
源の確保に向けた具体的取り組みは、
新財源検討会で検討を引き続き進め、
新たな財源の確保に努めていきたい。
問 《主要市道第12号線(残堀街道)か
ら平和通りまでの拡幅整備について》
市内循環バスが通行しているが道路
幅員が狭くバス停がない状況である。
①拡幅予定幅員について。②進捗状
況について。③交通量の実態につ
いて。
答 ①③平成21年5月に沿道の関
係地権者等を対象に事業計画説明会
を開催した。その後、沿道地権者に
個別訪問し事業計画の理解を求めた。
なお、交通量調査では、自動車や二
輪車などを合わせ、概ね3千台の交
通量が確認されており、こうした交
通量等を勘案し、道路幅員等につ
いて現在検討している。

市内循環バスとコミュニティ タクシー(仮称)について



宮崎 起志
(公明党)

問 バスのワンコイン化と路線の見直し及びコミュニティタクシー(仮称)導入に向けた検討状況について伺う。

答 市内循環バスのワンコイン化は、バス運行事業者と協議を開始したところである。路線の見直しや(仮称)コミュニティタクシーの導入については、市内地域公共交通に関する検討調査委託の結果を踏まえ、一体的に検討していきたい。

問 《公共施設へのLED照明の設置について》環境対策の一環として、市が率先してLED照明器具の導入を進めるべきと思うが、それぞれの施設について考えを伺う。①街路灯。②庁舎等の公共施設。③学校施設。

答 ①②③学校施設を含め公共施設への省資源・省エネルギー型電化製品の導入は、議場への省エネルギー型照明器具の設置や学校施設内の誘導灯LED化など、武蔵村山市環境行動指針に基づき実施している。街路灯のLED化は、平成21年度市民会館近くの市道の防犯灯4基について試行的に交換し、現在、状況等の確認を行っている。

問 《自治会の活性化について》①自治会の加入率は。②現状の自治会活性化策とその効果は。③自治会活性化のための職員地域担当制の検討状況は。

答 ①本年4月に35.2%で、前年度と比較して1ポイントの減となった。②平成20年度から自治会活性化活動費補助金を交付し、21年度は31自治会に交付し新たに207世帯の加入があった。③今年度設置した地域コミュニティ活性化検討協議会の中で、検討をしていく予定となっている。

問 《保育所の待機児童対策について》①待機児童の人数は。②待機児童対策の現状と今後の待機児童の見通しは。③待機児童対策の新たな方

策はあるのか。

答 ①本年11月1日現在227人である。②今年度中に民間保育所の分園1施設、民間保育所2施設の増設で58人の定員増を23年度から予定しており、今年度より減少すると考えている。24年度には市立保育所の指定管理者制度移行時に26人の定員増を予定し、26年度を目標に、次世代育成支援行動計画(後期計画)に基づき、民間保育所、認証保育所の開設を予定している。なお、保育所への入所円滑化対策の実施による弾力的な受け入れ対策も、引き続き、民間保育所の協力により、待機児童の解消を目指していきたい。

問 《体育協会の事務所について》事務所確保に向けての同協会との話し合いの状況について伺う。また、事務所提供にあたっては、同協会の法人化が一つの条件と考えるが、市の認識を伺う。

答 体育協会の会長、役員と事務所の場合などについて、協議している。また、公有財産の使用許可は、スポーツ事業の委託件数を増やしたい意向があり、そのため、法人化が望ましいと考えている。



みんなできれいな川に(残堀川クリーン作戦)

討 論 (要 旨)

市議会議員の定数を削減する陳情2件が提出され、賛成少数により不採択となりました。その際、議会の採決に先立って行われた討論の要旨をお知らせします。

賛成討論

金井 治夫
(新公会)

新公会は、会派拘束をしていないので、賛成の立場から討論を行う。

今回の陳情は、市議会議員の定数を減を求めるものであるが、こういった陳情が市民や市民団体から声が出るまでという背景があるということである。

まずは、4年前の市議会議員選挙が無投票であったこと。このことは残念ではあるが、現実として、市民の投票権を奪ってしまうことになった。

また、市長選挙においても、無投票選挙になるのではないかと危惧されていたが、告示日直前、他の候補予定者が現れ市民の投票権を奪うことなく選挙が実施された。

しかし、市議会においては、現職に、市長選挙立候補者がいる場合、通常であれば、現職市議会議員の空席を埋めるべき市議会議員補欠選挙が実施される。

補欠選挙が行われるものと思っていた市民にとって期待が外れたのかな、と思う。

ここでも投票権が奪われたと感じた市民が多くいたことと思う。

ここ数年の市政運営・議会運営を見てみると支障なく運営がなされており、問題が生じているとは言えない。

今回の陳情は市民目線から見ると、至極当然な考えである。

反対討論

天目石 要一郎
(清流)

議会がもし、この陳情を受け入れないとしたら、市民からは「自己の保身を優先させた」との批判を招くことは必定であり、議会への信用は地に落ちるものと考ええる。

市議会は、この市民の声を、真摯にしっかりと受け止め、市民の期待に応えるべきである。

沖野 清子
(公明党)

公明党を代表し、市議会議員の定数削減を求める陳情に対し、賛成の立場から討論を行う。

今、わが国は、少子高齢化の進行と、長引く経済の低迷の中、官民上げて、スリムで効率的な組織体制を構築することで、明るい展望を見出すべく、必死の努力を重ねている。

わが武蔵村山市役所においても、市民サービスを下下させることなく、最大55人であった職員を、現在では、391人まで減らしてきた。

そのような中、市議会だけが例外であって良いはずはなく、ましてや、切実な市民の思いである、本陳情をないがしろにすることは許されぬ。

市議会は、市民の代表として行政の無駄をチェックする機能を有しているが、これは、自ら律することができて、初めて有効に機能するものである。

過日の議会運営委員会において、一部議員より本陳情に対し、保留にすべきとの意見があったが、保留とは、審議をしないという事であり、あまりにも無責任である。

私は、社会のいろいろな立場や考えを持った人が議論を重ねて行く事がより良い市政に繋がると信じている。武蔵村山市議会の議員定数は20名で、人口が7万人程度の同規模自治体の中では議員数が少ないほうから全国で4番目である。また、地方自治法では武蔵村山市規模の自治体の議員定数は30名以下となっている。実はこの法律自体、議員定数削減の風潮に合わせて元々議員定数を少なくしている。ちなみに、現在の議員数は旧自治法の定数から言うところと半分の定数である。

陳情者は、議員数が18名でも問題が出ていないと考えているようであるが、実際はどうであるか。武蔵村山市議会は常任委員会が3つあるが、議員の欠員のせいもあり、建設環境委員会は5名しかいない。議事の運営にあたる委員長・副委員長を除くと残り3名となってしまう。この陣容で新設条例や請願・陳情の議事などを行っているが、これ以上の議員定数を削減した場合、非常に独裁的な委員会の議事が行われる不安がある。

近年、地方制度改革の一環として市町村合併が行われた。その結果、

市町村議会議員は平成14年末は5万9千224名であったのが、7年後の平成21年末には3万4千682名と約4割も削減された。旧自治法に照らし合わせれば平成14年末の5万9千9名という議員数ですら、既に約3割は定数削減された上での議員数という事は言うまでもない。

このように、市町村は既に議員数を大幅に削減しているが、戦後地方自治制度ができて以来、議員定数削減に全くと言っていいほど手を付けていないのが都道府県議会である。上限定数3千104名のところ、現在の議員数は2千784名。施行以来ほとんど削減をしていない。問題はこちらのほうにあるのではないか。

昨今の、地方制度改革は、都道府県より市町村の権限を強めて市民の声を反映できるようにして行こうというものである。その中で、安易に議員数を削減することは将来に大きな禍根を残すことになるかと考え反対討論とする。



みんなルール守ってね(自転車交通安全教室)

竹原 キヨミ
(日本共産党)

日本共産党市議団を代表し、反対の討論を行う。

陳情は「財政が厳しいから身を削れ」といながら、財政の出し入れの根本問題には触れていない。

例えば、財政が厳しいといいなから、法人税を安くしたり、政党助成金(年間320億円)の無駄や、米軍への基地提供を無償で行い、思いやり予算を毎年行っているが、こうした取る場所や削る場所など、全体を議論せず、議員が多いというのは一方的ではないか。

市議会議員は、市政のガラス張りの行政運営のため、財政や事業をチェックする。また、要求実現のため、条例や意見書、要望書など提出する。市民と行政の、パイプ役として働き、市民生活に深くかかわって活動している。

議員の数の適正は、人口との関係で法定の上限を決めている。これは大きな目安だと考える。

しかし武蔵村山市の場合、30人が法定上限となっているが、条例では20人とかかなり低い議員定数を決めている。1人の議員対市民は、3千483人となっている(21年6月1日)。

近隣自治体で福生市は、同じ20人の議員定数で、2千918人、羽村市は18人の市議で3千102人、東大和市は22人の市議で3千42人となっている。

1人の議員対人口が多くなればなるほど、行政とのパイプが細くなり行政の光が当たらなくなる。行政に市民の光が届きにくくなるだろう。

最後に、市議会議員は様々な市民の意見や願いを、市政に反映させるために働くことが大きな使命である。市民の顔が見える距離にいてこそ意見が聞けるし、市民も議員の顔が見える距離にいてこそ、要求を出しやすくなるであろう。

議員の数が減れば、市民の声が行政に届かなくなるのは必至だ。

議員定数削減の意図は、市民の声を削ることと同じではないだろうか。共産党市議団は、議員定数削減に反対し、議員歳費を削ることに賛

成である。
以上述べて反対討論とする。

須藤 博
(民主党)

市議会議員の定数削減に関する陳情に、反対の立場から討論を行う。

最少の費用で最大の効果を上げるという趣旨については賛成であるが、単純に減らせばよいという考え方には疑問を持っている。

日本の公務員の数は、人口比で欧米よりはるかに少なく、それでも減らせ減らせの大合唱である。しかし、実際には公務員の仕事は加重になり、国家公務員の自殺者が多発している。

本市の職員数は、550人だったものが400人まで減っているが、その内実は正規職員が嘱託や臨時職員に置き換わっただけで、総数はかえって増えているのである。

適正な議員定数が何人かについては、私自身はまだ結論が出ていないが、以前の24人だった当時よりも、20人に減った現在の方が本市の人口は増えており、更に増えつつある。

そういった状況の中で削減論には慎重にならざるを得ない。市議会議員は、市長部局を監視し、市民ニーズをくみ上げて提言するといった大事な仕事をしているから、7万人の人口に対して20人でも充分ではないかもしれないのである。

一人ひとりの議員は、せっせと働いているが、市議の働きは市民から見えにくいものである。見えないから要らないと言われるとすれば残念なことである。行政を、役所とは別の角度から補完するという大事な仕事を行っているのが市議会であり、単純な削減論が先にたつ議論には危機感を覚える。このような意味から、今回はこの陳情に反対させていただきます。

可決した議案

第四回定例会

条例

▼武蔵村山市議会議員の議員報酬、費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

▼武蔵村山市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

▼武蔵村山市常勤の特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

▼武蔵村山市教育委員会教育長の給与、旅費、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

▼武蔵村山市教育委員会教育長の給与、旅費、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

▼武蔵村山市教育委員会教育長の給与、旅費、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

▼武蔵村山市教育委員会教育長の給与、旅費、勤務時間等に関する条例の一部を改正する条例

専決処分

▼専決処分の報告について

○交通事故による損害賠償の額の決定について
市用車駐車場における事故に関し、市が支払うべき損害賠償の額(3万2千25円)を決定するもの。

その他

▼武蔵村山市立のぞみ福祉園の指定管理者の指定について

▼武蔵村山市立のぞみ福祉園の指定管理者を社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会に指定するもの。

▼湖南衛生組合規約の変更について

▼武蔵村山市基本構想について

▼武蔵村山市における総合的かつ計画的な行政運営を図るための基本構想を新たに定めるもの。

意見書

この定例会で、次のとおり意見書13件を可決し、関係機関へ提出しました。

▼子ども手当財源の地方負担に反対する意見書

▼朝鮮高級学校を高校授業料無償化の対象とすることについての意見書

▼政府に対し万全の危機管理体制の構築を求める意見書

▼ロシア大統領の北方領土訪問に対し、毅然とした外交姿勢を求める意見書

▼ヒトT細胞白血病ウイルス1型(HTLV-1)総合対策を求める意見書

▼脳脊髄液減少症の診断・治療の確立を求める意見書

▼尖閣諸島海域の領土・領海を守り抜くことを求める意見書

▼小、中学校の普通教室へのクーラー設置に国の財政支援を大幅に引き上げることを求める意見書

▼東京都に対し公立小、中学校の普通教室にクーラー設置のための特別助成制度創設を求める意見書

▼若者の深刻な就職難打開のための施策を政府に求める意見書

▼国民健康保険における国庫負担の引き上げを求める意見書

▼環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉への参加に反対する意見書

決議

▼北朝鮮による韓国・延坪島砲撃に関する決議

▼仙谷由人官房長官の発言に抗議する決議



請願・陳情の

審議結果

この定例会における請願・陳情の審議結果は、次のとおりです。

採択となったもの

◇建設環境委員会

▼大南3丁目109番地の雨水被害に関する陳情

◇厚生産業委員会

▼ちいろば教室がのぞみ福祉園内に移設し運営委託される件に関する陳情

趣旨採択となったもの

◇厚生産業委員会

▼「住宅改修助成制度」の創設に関する陳情

▼「ちいろば教室」の児童デイサービス移行時の移設先に関する陳情

不採択となったもの

◇議会運営委員会

▼市議会議員の定数削減を求める陳情

▼武蔵村山市議会議員定数の削減に関する陳情

議決不要となったもの

◇厚生産業委員会

▼公立保育園の指定管理中止を求める陳情

※11月29日の会議において、市長提出議案第69号「武蔵村山市立保育所設置条例の一部を改正する条例」の一部を改正する条例が可決されたことに伴い、議決を要しないものとされた。

保留

この定例会で「保留」となったものは、次のとおりです。なお、この案件は、会期切れにより、審議未了となりました。

◇厚生産業委員会

▼本市の学童クラブの対象年齢（学年）の引き上げを求める陳情

意見の分かれた議案等

○：賛成 △：棄権
×：反対 □：欠席

案 件	第 4 回 定 例 会							議 決 結 果
	会 派 (五十音順)	公明党 (6人)	新政会 (5人)	清 流 (2人)	政和会 (1人)	日 本 共 産 党 (2人)	民 主 党 (1人)	
武蔵村山市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	×	○	可決
武蔵村山市立保育所設置条例の一部を改正する条例の一部を改正する条例		○	○	○	○	×	○	可決
市議会議員の定数削減を求める陳情		○	○× (注1)	×	×	×	×	不採択
武蔵村山市議会議員定数の削減に関する陳情		○	○× (注2)	×	×	×	×	不採択
子ども手当財源の地方負担に反対する意見書		○	○	○	○	×	×	可決
朝鮮高級学校を高校授業料無償化の対象とすることについての意見書		○	○	○	○	×	○	可決
政府に対し万全の危機管理体制の構築を求める意見書		○	○	○	○	×	○	可決
尖閣諸島海域の領土・領海を守り抜くことを求める意見書		○	○	○	○	×	○	可決
環太平洋戦略的経済連携協定(TPP)交渉への参加に反対する意見書		○	○	○	×	○	○	可決
仙谷由人官房長官の発言に抗議する決議		○	○	○×	○	×	○	可決

※（ ）内は、会派所属議員数です。ただし、新政会については、議長を除いた人数です。
(注1、2)内訳は、賛成1、反対4

会議録をご覧ください

議会だよりは、紙面の都合により発言の一部や要旨のみを掲載しています。会議録は、ホームページで検索するか、市内の各図書館や市役所1階の市政情報コーナーのほか、5階の議会事務局に備えてあります。
なお、会議録は議会閉会后、おおむね2か月後の発行となります。

声の議会だより

目の不自由な方に「声の議会だより」(90分程度のテープ)をお届けします。ご家族やお知り合いでご希望の方がおられましたら、ご連絡ください。

問い合わせ

市役所・議会事務局
☎042(565)1111内線512

写真差し上げます

議会だよりの写真に、あなたが写っていましたら、電話又はファックスにてお申し込みください。無料で写真を差し上げます。
なお、発送は2月下旬ごろになります。

□ファックス番号
(564)0788

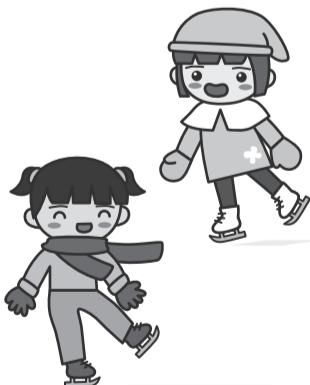
□申込受付期間

発行の日から1か月以内

□武蔵村山市本町一丁目

1番地の1

市役所・議会事務局



次の市議会定例会（平成23年第1回）は

2月下旬に開会の予定です。

▽傍聴はお気軽にどうぞ 傍聴を希望される方は、当日、議会事務局(市役所5階)へお申し出ください。

※車椅子での傍聴もできます(障害者用トイレも設置されています)。

※会議は、通常午前9時30分から始まります。

議長の行事トピックス
(10月～12月)



議 長
比留間 市郎

7日(木)	第72回全国都市問題会議
8日(金)	全国市議会議長会基地協議会正副会長・監事・相談役会議
28日(木)	北京市区・県人民代表大会友好代表団歓迎会
1日(月)	第21回東京都道路整備事業推進大会
2日(火)	全国市議会議長会基地協議会第74回理事会及び衆・参基地関係委員会委員との要望懇談会
4日(木)	全国市議会議長会総会
10日(水)	全国市議会議長会第89回評議員会
12日(金)	東京都市議会議長会理事
17日(水)	東京都市議会議長会定例総会